

業務委託条件書

計画条件		
1	計画概要	公会堂北防災広場は、災害時は市中心部の避難場所や災害ボランティアの活動拠点とし、平常時は駐車場や賑わい創出の場として活用し、地域住民の交流や憩いの場とすることを目的として整備される。その中で、防災倉庫は災害時に必要な資機材の受渡しや保管場所として計画され、多目的棟は災害時にはボランティアセンタースタッフの会議や休憩場所等として、平常時には公会堂の演者の控室等として利用される計画となっている。
2	敷地面積	7,000 m ² 程度
3	構造・階数	鉄筋コンクリート造もしくは鉄骨造 1階建て
4	計画面積	480 m ² 程度 (2施設合計面積)

基本的な考え方		
1	設計方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫は災害時の資機材の搬入・保管・受渡し場所としての機能を効率的に発揮できるよう、構造や施設の配置等の工夫を図ること。 ・多目的棟は災害時にはボランティアセンタースタッフの活動拠点、平常時には公会堂利用者の控室等として計画していることから、両面での機能を効率的に発揮できるよう、構造や施設の配置等の工夫を図ること。 ・効率よく採光、通風を確保し、かつ断熱効果を高めること等により、冷暖房費の削減を図ること。資機材の保管への影響も考慮すること。 ・各諸室の目的に合った配置計画とすること。 ・スロープや手すりの設置、トイレや出入口等のバリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮し、地域の防災拠点としての利便性の向上等を図ること。 ・利用者等がそれぞれ円滑に移動できるような動線を設定すること。
2	防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に正確かつ迅速な情報収集ができるようインターネット環境 (Wi-Fi) を整備すること。 ・非常時の電源については発電機の使用を計画しているため、必要な施設は維持しつつ、電力負荷の軽減を図れるよう構造や施設配置等の検討を行うこと。 ・火災の発生を早期に感知し、消防機関等に迅速に通報できるよう、自動火災報知設備や非常用押しボタンなどの警報設備を適切に設置すること。
3	敷地計画	<ul style="list-style-type: none"> ・既発注の防災広場全体の設計業務において、敷地内における建物、電気設備、給水設備、排水設備等の配置は計画済みなので、これらを踏まえた計画を行うこと。
4	配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の配置については既発注業務において計画済みであり、広場全体の配置計画に影響するため、基本的には変更しないこととする。 ・現在の配置計画の中で、防災倉庫と多目的棟を一体構造に見直すことは可能である。

5	設備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫については面積 200 m²を確保すること。 ・多目的棟については面積 200 m²程度の大広間と 20 m²程度の個室を 2 部屋、収納スペース（大広間に隣接）10 m²、トイレ、衛生設備（小規模シンクを備えたもの）を設置すること。これらの部屋を設置したうえで、災害時、平常時の利用において利便性・快適性に優れたレイアウトを検討すること。 ・建物内は土足利用とする。 ・機器と備品類はできる限り汎用製品を用い、日常の管理及び軽微な修繕並びに機器更新を合理的に実施できる施設とすること。 ・消費電力を削減することによる CO2 排出抑制に寄与するため、再生可能エネルギーの導入について検討すること。
---	------	--

諸室の条件				
	室名	用途	想定面積	内容
防 災 倉 庫	出入口		1 か所	・多目的棟との往来がし易いよう、連絡通路側に設ける
	搬入・搬出口	資機材の搬入・搬出		<ul style="list-style-type: none"> ・全面シャッターを設置する。電動・手動両用とする。 ・ウイングトラックが横付けして資機材の搬入ができるようシャッターの位置に配慮する。 ・トラックが横付けした際に雨で濡れないよう大きめの庇を設ける。
	倉庫	資機材の保管場所	200 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙 2「保管品リスト」を参考に収納棚を設け、レイアウトを検討する。 ・倉庫内の温度・湿度の変化や窓からの紫外線による資機材の劣化に考慮して、レイアウトを検討する。照明設備、換気扇、窓の設置等。 ・外部からの出入口を設ける。
	資機材洗い場	使用した資機材の洗浄	3m 程度 蛇口 5 口	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫前面に配置する。 ・通行の支障にならず、利便性を考慮した場所を選定する。
多 目 的 棟	出入口		4 か所	<ul style="list-style-type: none"> ・大広間とそれ以外の部屋（廊下）へアクセスできる出入口を分けて配置する。 ・公会堂へアクセスし易い位置へ 1 か所出入口を設ける。
	大広間	多目的	200 m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備（冷暖房・換気扇）を設置する。 ・音響設備（簡易アンプ、マイクセット）を設置する。 ・照明設備（天井照明）を設置する。 ・公会堂との内線機能を備えた固定電話を設置する。 ・吹奏楽等の練習ができるよう防音機能を備える（完全防音までは不要）。 ・間仕切りを設置する。

個室	休憩・会議等	20 m ² 程度 2室	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設ベッドが設置できるよう配慮する。 ・空調設備（冷暖房・換気扇）を設置する。
倉庫		10 m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> ・大広間側から出し入れできるよう配置する。
トイレ		多目的トイレ1基	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレ1基で最小限の規模とする。 ・廊下側からのアクセスとする。
給湯室		最小限	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模なシンクを設置する。 ・電気ポットでお湯が沸かせるようコンセントの配置
建物全般			<ul style="list-style-type: none"> ・電気・水道設備を備える。（ガスは不要） ・各部屋で通信設備（Wi-Fi、無料公衆無線LAN）が使用できるよう整備する。 ・外壁に防災広場の案内サインを設置する。（縦 850mm × 横 1,000mm 程度）